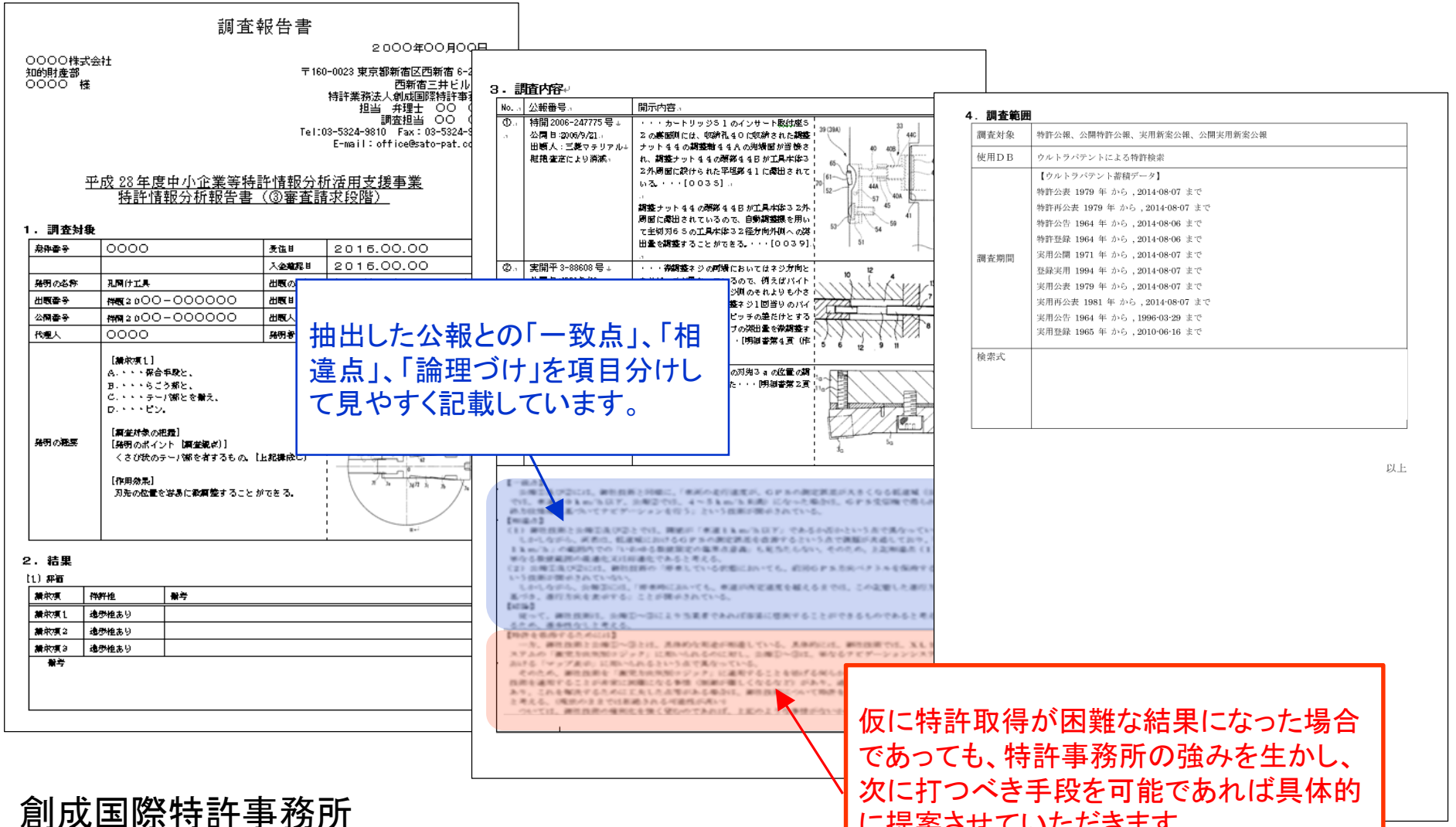
平成30年度 中小企業等特許情報分析活用支援時用
特許情報分析報告書（審査請求前段階）

（サンプル）



調査報告書

２０００年００月００日

〇〇〇〇株式会社
知的財産部
〇〇〇〇　様

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-2
西新宿三井ビル
特許業務法人創成国際特許事
担当　弁理士　〇〇
調査担当　〇〇
Tel:03-5324-9810　Fax：03-5324-
E-mail：office@sato-pat.co

平成 28 年度中小企業等特許情報分析活用支援事業
特許情報分析報告書（③審査請求段階）

１．調査対象

発明番号	〇〇〇〇	受理日	２０１６．００．００
		入金確認日	２０１６．００．００
発明の名称	孔開け工具	出願の	
出願番号	特願２０〇〇－〇〇〇〇〇〇	出願日	
公開番号	特開２０〇〇－〇〇〇〇〇〇	出願人	
代理人	〇〇〇〇	発明者	
発明の概要	【請求項１】 A．・・・保合手段と、 B．・・・らこう部と、 C．・・・テーパ部とを備え、 D．・・・ピン。 【調査対象の把握】 【発明のポイント（調査視点）】 くさび状のテーパ部を有するもの。（上記構成C）		

２．結果

（1）評価

請求項	特許性	備考
請求項１	進歩性あり	
請求項２	進歩性あり	
請求項３	進歩性あり	
備考		

３．調査内容

No.	公報番号	開示内容	
①	特開 2006-247775 号 公開日：2006/9/21 出願人：三菱マテリアル 超硬査定により消滅	・・・カートリッジＳ１のインサート取付座Ｓ２の底面には、収納孔４０に収納された調整ナット４４の調整軸４４Ａの先端面が当接され、調整ナット４４の雄部４４Ｂが工具本体３２外周面に設けられた平坦部４１に露出されている。・・・[００３５] 調整ナット４４の雄部４４Ｂが工具本体３２外周面に露出されているので、自動調整機を用いて主切刃６５の工具本体３２径方向外側への突出量を調整することができる。・・・[００３９]	
②	実開平 3-88608 号	・・・締結調整ネジの締結においてはネジ方向と るので、例えばバイト ジ側のそれよりも小さ 整ネジ１回当りのバイ ピッチの差だけとする ての突出量を締結調整す ・[明細書第４頁（作	
		の刃先３ａの位置の調 た・・・[明細書第２頁	

抽出した公報との「一致点」、「相違点」、「論理づけ」を項目分けして見やすく記載しています。

４．調査範囲

調査対象	特許公報、公開特許公報、実用新案公報、公開実用新案公報
使用ＤＢ	ウルトラパテントによる特許検索
調査期間	【ウルトラパテント蓄積データ】 特許公表 1979 年 から，2014-08-07 まで 特許再公表 1979 年 から，2014-08-07 まで 特許公告 1964 年 から，2014-08-06 まで 特許登録 1964 年 から，2014-08-06 まで 実用公開 1971 年 から，2014-08-07 まで 登録実用 1994 年 から，2014-08-07 まで 実用公表 1979 年 から，2014-08-07 まで 実用再公表 1981 年 から，2014-08-07 まで 実用公告 1964 年 から，1996-03-29 まで 実用登録 1965 年 から，2010-06-16 まで
検索式	

以上

仮に特許取得が困難な結果になった場合であっても、特許事務所の強みを生かし、次に打つべき手段を可能であれば具体的に提案させていただきます。

創成国際特許事務所